



香里ヶ丘中央公園の「工事用フェンス」が撤去されました。「住民無視の美術館建設は許さない」市民の運動は勝利しました。(同公園 7月7日)

# 平和が いちばん

2016年7月15日  
第 109 号  
平和で豊かな枚方を  
市民みんなで作る会

## 市民は共同 野党は共闘で前進

福島みずほさん(比例区)が当選、わたなべ結さん(大阪選挙区)は大健闘でしたがあと一步届きませんでした。参院選で憲法を変えさせない、原発反対を明確にしたこの二人を私たちは応援することを決め、集会参加・チラシ配布・電話での投票依頼などの活動を行ってきました。行動された皆さん、支援を頂いた皆さん、ありがとうございました。

「改憲」勢力が参議院でも3分の2の議席を占めることになりました。しかし安倍首相は選挙期間中「改憲」の課題を口にしませんでした。マスコミも争点隠しを後押しした結果であり、決して有権者が「改憲」を支持したものではありません。今回の選挙戦の大きな成果は「野党共闘」です。沖縄では「辺野古基地建設反対」を掲げた伊波洋一さんが自民党現職大臣を大差で破りました。東北六県では5人の野党統一候補が当選しました。福島原発事故への怒りやTPPをゴリ押しする安倍政治への不満が大きな力です。同時に行わ

れた鹿児島知事選挙では川内原発停止を訴える三反園訓さんが当選し、原発再稼働への強い批判が示されました。このことは安倍政治への怒りと具体的な要求が広がるほど野党共闘は力を発揮し絆は強まることを明らかにしています。

枚方でも香里ヶ丘中央公園への「美術館建設」反対の運動が勝利しました。計画の白紙撤回に続いて現地の工事フェンスが撤去されました。大事なことは市民みんなで決めようという粘り強い運動が、住民無視の計画を撤回させたのです。

参院選での闘いと美術館問題の勝利は、安倍政治に対決していく大きな見通しと確信を与えてくれました。政治と憲法を壊す動きを許さないために求められていることは「市民は共同・野党は共闘」をより広くより深く進めていくことです。地域から「壊憲反対」の声と運動を一つにし、全国の大きな運動に合流していきましょう。共同と共闘こそ大きな力です。

### 直言

「競争」より「共生」の教育を F

参院選が終わった。大阪では維新が二人とも当選し、野党が支援した二名が苦汁をなめる結果となった。お二方の票を束ねれば、余裕で勝利したのと思った方も多に違いない。

ともあれ、国政・府政のみならず、この枚方も維新色が色濃くなってきている。それは端的に言えば、子どもを「人材」経済活動の道具」と位置づけ、「競争原理」のもとに「勝者」「敗者」の分断を教育の場に持ち込むものだ。具体的に言えば、教育活動のすべてを「学力向上」に集約し、数値目標をあげさせ到達しなければ少数人数など独自加配の引き揚げをちらつかせる、という、おおよそ「教育」の本質とは相容れない危険極まりないものだ。

私は枚方で教員になって三〇年余りになるが、そもそも枚方には「共生」という確固たるスタンダードが存在した。「障がい」を持つ子も持たない子も同じ教室で教え合える支え合いながら学ぶというものだ。「健常児」は教科書からは学べない「人と人との関わり・優しさ」を学び、教

員は子どもの営みから多くを学ぶ。人権・平等(憲法の理念)を足元から実感できる有機的な取り組みであった。

今、大阪府の高校入試制度が変わり「絶対評価」の美名のもとに、従前の「相対評価」よりも性質の悪い評価制度が始まった。全国学力を入試の資料にしてはならぬという文科省の指示を逆手にとつて「チャレンジテスト」なる独自の物差しで「学校間の学力差」を測るといふ。これに乗つかると、平均点を下げると想定される子どもたちが「目標の邪魔者扱い」され、「欠席勧告」など真つ先に排除されるのは容易に想像がつく。もちろん学校現場では、若手教員を含めこれらの教育政策に批判の声は少なくない。しかしそれが内部からの大きな運動となるには、あまりにがんじがらめの状況である。

私は、この場を借りて市民のみなさんに訴えたい。保護者・市民の声を束ねて、『学力向上』一辺倒の教育政策に異議を唱えてほしい。「教育」とはあまねく総ての子どもの幸せを願うものであるはずだから。

# 手塚たかひろ 議員日誌

**6月19日 「市民の会」総会** 枚方でも戦争法廃止の行動を通して共同行動が広がってきた。「効率化」と言って民営化と市民負担を拡大する伏見市政への監視を強め、市民が主人公の市政づくりへ、さらに共同行動を広げることを確認した。

**6月24日 市議会一般質問** (詳細は「議会報告」を) 質問に対する具体的な回答が得られない、伏見市政になっても「国の動向を注視する」など市としての独自施策が見られない、また市民参加で市民自治を強化する視点がないことなど、市政変革の課題が明らかになった。

**7月7日 香里ヶ丘中央公園のバリケード撤去** 夕方には森も整備され子供たちも自由に入れるようになった。作業を見守る住民はみんな笑顔、市役所公園みどり推進室の職員にも笑顔が見られた。粘り強い見守り活動、お母さん方の1114筆の署名行動など、市民の声が前に進めた。市民無視の美術館建設計画が市民と行政の対立を生み出した。この教訓を生かし重要なことは市民参加で検討段階から行うことが大事だ。香里ヶ丘のまちづくり、香里ヶ丘図書館のリニューアル、香里工廠の戦跡保存など、市民参加での検討を実現させよう。

**7月10日 参院選投票** 憲法改悪を狙い原発を推進し、貧困と格差拡大の安倍政治を変える立場で、市民の会は参議院比例区では「福島みずほ」さん、大阪地方区では「わたなべ結」さん、の応援を決め、私も取り組んだ。6月28日には梅田ヨドバシカメラ前などでの福島みずほさんの街頭宣伝行動に参加し、応援のアピールを行った。また、枚方市駅前などでのわたなべ結さんの宣伝行動や7月3日の枚方市市民会館での日本共産党演説会に参加し、わたなべ結さんのアピールを聞いた。福島さんわたなべさん いずれも話を聞けば聞くほど国会必要な人だと確信を深めた。福島さんは当選、わたなべさんは残念な結果となったが、野党共闘の力を確信できた。改憲派が3分の2を超えることになったが、改憲が支持されたわけではない。改憲阻止へ枚方でも共同行動の継続・拡大を目指す。

6月24日 6月分議員報酬より219,300円を 7月5日 6月期末手当より660,000円を大阪法務局に供託

## 意見箱

## 市民が育てる学校給食

## 入 船

中学2年の女子を持つ母です。今春より開始された学校給食ですが、娘のクラスでは三分の一ほどの生徒が申し込みをしているそうです。周りのお母さんも、任意だと子どもが弁当の方がいいと言うそうです。ですが現在、仕事を持つお母さんは多いですし、朝は忙しいです。お弁当のオカズは、冷凍食品や加工食品を使っているという話をよく耳にします。今回初めて7月の献立表を隅々まで見ました。給食のメニューには工夫がたくさんされています。七夕には星型の蒲鉾入りにゅう麺や暑くても食べやすい冷しゃぶ、夏野菜カレー。レシピなども掲載されています。私は365日、季節感や栄養バランスを考え抜いた料理はとても作れません。朝晩の食事や弁当にも偏りが出ます。家族の嫌いな食材は食卓に出す機会も少なくなります。給食では出ます。私はそれは助かるし良いことだと思います。一食でも多く、栄養が考えられた食事を子どもが摂ってくれるとありがたいです。

食育とよく耳にしますが、難しい知識は私にはありません。給食に手伝ってもらうのは助かるなあ、と正直思います。給食の持つ意味は、私が考えていた以上に深いし、重要な気がします。給食の試食を沢山の人にしてもらえれば、給食に対する考えももっと広がるかもしれません。例えば就学前の子どもを持つお母さんや、年配の方などに無料で試食してもらえばより効果が発揮されるのではないかと思います。一人でも多くの人に、試食や1カ月の献立を見るなど体験してほしいものです。私は家庭だけではなく、地域や学校がもっと連携して子どもの食育に関わっていただくと心強いなあと思います。

この原稿を書きながらもっともっと学校給食について真剣に考えなければいけないと気付かされました。娘のクラスでも、もっと給食申込者が増えるといいですね。

〒573-0027

枚方市大垣内町

2丁目8-27

シンエービル別館A

市民の広場“ひこばえ”

TEL&FAX

072-846-8780

## 平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会

共同代表 黒田 薫 (平和都市枚方を考える市民の会)

鈴木めぐみ (親と子のリズム遊び講師)

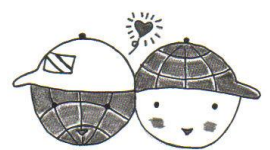
奥村 秀二 (弁護士)

おおた幸世 (枚方市平和無防備条例を実現する会)

事務局長 手塚 隆寛 (枚方市市議員)

メールアドレス : [hiratkatasiminokai@yahoo.co.jp](mailto:hiratkatasiminokai@yahoo.co.jp)

ホームページ : <http://hiratkatasiminokai.jimdo.com/>



「会」のシンボルマーク

塔本賢一さん作